

令和4年度

施政方針

次代を担う子どもたちのため 持続可能な社会実現を目指して

市議会第1回定例会が3月1日から3月23日まで開かれ、篠原実市長が施政方針演説を行い、令和4年度に取り込む重要施策について述べました。その概要をお知らせします。



篠原 実 市長

重要施策

社会容容に対応した新たな取り組み

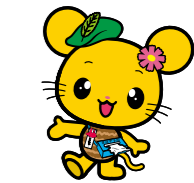
▼脱炭素（地球温暖化対策）への取り組み
近年は、地球温暖化に端を発した豪雨災害などの気候危機が、ますます顕在化するとともに、使い捨て型の経済活動・日常生活が地球環境に限界をもたらしつつあり、対策の実行は喫緊の課題となっています。本市においても、四国中央市カーボンニュートラル協議会が令和3年6月に設立されました。こうした地域の脱炭素に取り組む機運の高まりに合わせ、市だけでなく、市民・事業者の取り組みを促進します。

▼SDGsの推進 ※4ページに関連記事
意欲的にSDGsに取り組む法人などを推進パートナーとして認定する制度の創設や、金融機関や経済団体などと連携を図り、情報共有や市民への普及活動を行うなど、市全体でのSDGsの達成に向けた取り組みを進めます。

安心・安全な生活の実現

▼新型コロナウイルス感染症対策事業
手洗いや消毒、マスク着用など基本的な感染予防を積極的に啓発します。また、ワクチン接種に関しては、希望する方が速やかに接種できる体制を継続することにも、市民の皆さまへの丁寧な情報発信に努めます。

▼中核病院の整備
公立学校共済組合・四国中央病院による中核病院の建設は、令和3年度に、新病院の基本構想がまとめられ、建設場所を三島医療センター跡地にすることが決定されました。中核病院は、より身近で充実した高度医療や救急医療を受けられる地域医療体制を目指す本市にとって必要不可欠なものであり、最重要課題と位置付けて、令和3年度から「地域医療再生基金積立金」を創設し、早期建設に向けた支援や、災害拠点としても期待されている新病院周辺の道路環境などの整備を進め、市民の皆さまの健康と命を守る医療体制の充実に努めます。



▲「令和4年度 施政方針」の全文は、市HPでご覧になれます

活力ある産業活動の創出

▼日本一を誇る紙産業の持続的な発展
地域産業の人材確保のため、市内中学生を対象とした工場見学などを継続して行い、地元就職率の向上を目指すとともに、県紙産業技術センターをはじめ、産学官の連携を更に深め、地域産業に直結した人材確保、地域産業の活性化に努めます。

豊かな暮らしの実現

- ▼公共施設トイレの環境整備
- ▼ユニバーサルデザイン化の推進や新型コロナウイルス感染症予防の観点から、令和5年度までの2か年計画で、洋式化、手洗い自動水栓化を行います。
- ▼国道11号バイパスの早期延伸
- ▼重要港湾三島川之江港の整備
- ▼城山下臨海土地造成事業の推進

子どもたちの健やかな成長の実現

▼放課後児童クラブ申請対象学年の拡大
これまで4年生までとしていた受け入れ対象学年を6年生までに拡大するなど、今後も保護者の方々が安心して頂ける環境整備に取り組みます。

▼学校教育の充実

令和3年度からGIGAスクール構想の本格的な活用が始まっていますが、「AI（人工知能）型ドリル教材」の導入など、ICTを活用した教育をさらに深化させるとともに、特別支援教育の充実や不登校対策にも積極的にデジタルを活用し、子どもたち一人ひとりに応じた質の高い「あったかな四国中央市の教育」を実現します。

▼「子育て支援アプリ」を導入

母子健康手帳の情報管理機能や子育て関連イベントなどの情報配信機能を備えた「子育て支援アプリ」を導入します。また、夫婦が共に子育てを楽しむことができるよう、男性の主體的な家事・育児参画について、企業、事業者と連携して積極的に取り組みます。

▼子ども家庭総合支援拠点事業

全ての子どもと、その家庭及び妊産婦などに対して、切れ目なく継続的な支援を行います。

▼松柏小学校放課後児童クラブ開所

▼子ども食堂の運営を支援



誰もが活躍できる社会の実現

▼太陽の施設更新事業

令和5年度からの指定管理者制度導入に向けた手続きを推進します。希望する利用者が地域で暮らすことができるよう、利用者やご家族のご理解と関係機関などのご協力のもと、官民協働で取り組みます。

▼男性の育児休暇取得の推進

▼地域共生社会への取り組みの推進

人口減少対策

▼人口減少・少子化プロジェクトの事業化

昨年5月に設置した「人口減少・少子化対策プロジェクト会議」において、各種施策の検討を行い、事業効果を検証しながら、誰もが安心して結婚し出産、子育てができる社会の構築を目指して取り組みを進めます。

▼シティプロモーションの推進

本市の魅力効果を効果的に発信し、認知度の向上、新たな魅力の発掘、シビックプライドの醸成を図り、市民の皆さまが「住み続けたい」と思えるまちづくりを推進します。

▼第三次総合計画・第3期総合戦略の策定

▼防災・減災対策の強化

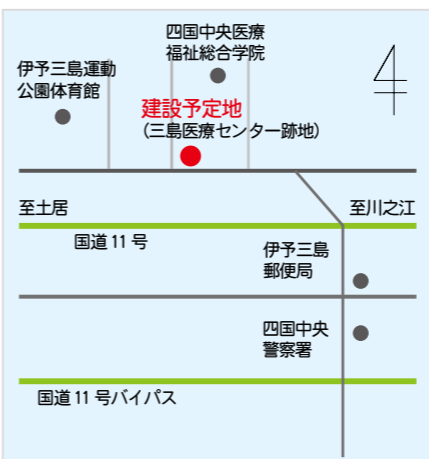
最新の安全システムを装備した「はしご付消防自動車」の導入や、老朽化した「消防団車両」の更新など消防救助活動のさらなる充実強化を図るとともに、避難所に指定されている集会所の維持管理費用の一部を補助し、地域防災力の充実に努めます。

▼ごみ処理施設再編事業

環境負荷の低減はもとより、今後の人口減少などに対応した施設更新が求められており、新居浜・西条地区広域行政圏協議会との合同によるごみ処理施設集約化や、ごみを燃やさず資源化できるトンネルコンポスト方式の処理施設について検討し、安定的かつ持続的な廃棄物処理体制の構築に向けて取り組みます。

▼新法皇トンネル整備事業の事業化

▼新宮窓口センターの「高齢者生活福祉センター」への移転



中核病院建設予定地 位置図

親しまれる市役所

▼DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進

AIなどの情報通信技術を行行政サービスに取り入れるなど、DXを推進することで、市民の皆さまの暮らしがより便利で快適となるようデジタル社会に対応した市役所へと変革を進めます。



※イメージ写真

▲ 行政手続きのデジタル化を進めます

くむすびく

新型コロナウイルス感染症対策の各種事業に加え、子育て支援の充実や地域防災力の強化のほか、DXや脱炭素など環境政策への取り組みなど、社会容容に対応した新たな施策的かつ迅速に対応してまいります。市民の皆さまにおかれましては、ご理解とご協力をお願い申し上げます。